

いまいま
元気に活動中

ふれあい重視の多彩な活動 ダイハツ車月会(OB会)滋賀支部

ダイハツ車月会(OB会)滋賀支部発足は平成4年度で、今年4月に19年目を迎えます。会員は県内8市3町に在住し幹事は28名で運営。幹事会は月1回開催で、本部報告や支部行事等を立案実施しています。幹事会、総会等は滋賀社員クラブを利用させていただきます。

活動、行事内容を紹介しますと、グラウンドゴルフは盛況で年5回行い、環境に恵まれた多くのコースの中でも、特に近江八幡市内の「河合コース」は会員が多く居住する地の公園に整備された素晴らしい場所で、定期的に利用する中で昨年5月には、参加者が105名というビック大会となり家族を含めた交流の場となっています。

ハイキングは年1回11月中旬に実施し、担当幹事がアイデア、コース選び等工夫され毎回好評です。信楽散策で陶芸工程見学、三重県阿山



2009年10月16日
工場見学&平等院拝観

のモクモクファームでの昼食、露天風呂入浴など…。昨秋は安土町近辺(信長の館、安土城址)を回り戦国時代に夢をさせ、天守閣模型に雄姿を偲びました。工場見学会も年1回ですが各地へ出向きました。トヨタホームでの自動車生産方式工程、飲料会社での試飲、昨年は社寺の拝観も加えて、毎年好評を得ています。その他に同好会としてゴルフ、カラオケ等も定期的に行われ、「安く楽しく」を合い言葉に、ふれあい重視の輪が広がります。また支部の膝元である竜王町で昨年3月に発足した「竜王みらいづくり共創会議」にもメンバーとして同町在住の会員が参画されています。

以上、今後も親睦と情報交換の場を多くの会員に提供できるように幹事一同頑張っています。

連合滋賀・高退協幹事
(ダイハツ車月会滋賀県支部幹事) 白数 均

番組の中で報道されていきました。私の見た場面は『50歳代单身所帯の元日、一通の年賀状も届いていない郵便受けと届かないことを自覚している言質』『独居老人の誰一人声かけができない不安』を訴えるところでした。現に進行しつつある社会現象の一部だと思いましたが、当事者が望んだ社会とは決して思えません。

昔、祖母に連れられてお墓参りをしたとき「無縁仏さん」と教えられ、子供心に侘しさを感じたことがあります。私が住まいする地域も独居老人・高齢者のみ世帯が着実に増加していますが、まだ地縁(干渉も含む)の残滓が担保されています。ただ、地域社会の地縁・血縁を「疎ましい」「プライバシーが守れない」との理由で若者がなかなか定着してくれない現実もあります。個人の生活を干渉することも、されることも好ましいとは思いませんが、等距離での人と人の結びつきを大切にしたい横にすそ野を広げる活動の必要性をいろんな事象から感じているところです。連合滋賀・高退協が中心となって展開している「高齢者サポート事業」も大きな役割を担っていただいています。生活する地域を「元気」に地域力をつける運動を…。

「縁(えにし)」

連合滋賀・高退協幹事 自治労退職者の会 坂谷 達也

今不況の中で一番深刻な業種は「表札」を作る業種とお聞きしたことがあります。景気変動に左右されることはほとんどない商売だったのですが、プライバシーを守るため表札を掲げない家庭が増え、景気低迷による新築住宅の落ち込みが更に拍車をかけたのが原因とのことです。やむを得ず住まいを明かすことができない人もいることは承知していますが、表札を掲げない全ての人々が事情ありとは考えにくそうです。そうだとすると意識に変化もあると思われます。隣に住まいする人の名前や出会うことも挨拶をしたことがないなんてことも耳にすると、他人事とは言え、なぜか寂しくなります。表札を掲げるかどうかでなく、生活基盤の中に近所つきあいや地域社会を取り組む必要がないなど、田舎住まいの私にとって想像することができない事象が進行していると感じます。

さらに追い討ちをかけるように、極めてショッキングなタイトルの特集「無縁社会」がニュース

リフレッシュ滋賀

第30号 2010.1.28
発行所:連合滋賀・高退協
発行責任者:吉川 浩次
編集責任者:山崎 長榮
大津市松本2丁目-10-6
TEL 077-523-0500
FAX 077-523-5600

よりよい高齢社会を生き抜くことを目標に 高齢者の社会保障制度の充実を求める



年頭の
ごあいさつ

連合滋賀高退協会長 吉川 浩次

明けましておめでとうございます。
連合滋賀・高退退職者団体協議会会員の皆様におかれましては、ご家族ご一同様ともに健やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

この一年間、連合滋賀・高退協の諸活動に対し構成組織、会員各位の深いご理解とご支援、ご協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。

昨年の夏、戦後初めて選挙によって念願の政権交代が実現し、官僚主導から国民主導の政治を実現するための歴史的な第一歩を踏み出しました。

しかし、政府の行政刷新会議による「事業仕分け」は予算の無駄を排除し、税金の使いみちや予算について国民が関心を持ち始めたという点では効果がありましたが、不況下での税収の大幅ダウンに伴う財源不足による、政府予算(案)編成とマニフェストとの乖離や沖縄普天間基地移転問題など新政権のビジョンや基本政策があまり示されていないところに国民は不安を感じていると思われます。新政権が発足したばか

りでありますから今しばらくは静観する必要がありますと思われる。

私たち日本高齢・退職者団体連合は、民主党を中心とする政府与党を支持・支援する立場に変わりましたが、高齢者の社会保障制度の充実を求める立場は以前と変わらず、①年金制度②医療制度③介護保険制度④税制⑤福祉一般について政府要求書を提出し、今年1月末までの全国一斉活動の一環として民主党滋賀県連に対し私たちの意とするところのご理解と今後のご指導を要望しているところであります。

連合滋賀・高退退職者団体協議会は来る2月20日に第16回定期総会を開催し、向こう一年間の活動計画を審議し決定します。会員がお互いに助け合い、親睦交流を深め、よりよい高齢社会を生き抜くことを目標に活動を進めます。

引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶とします。

連合滋賀・高退退職者団体協議会 第16回総会

- 日時: 2月20日(土) 10時30分開会(受付10:00)
場所: ライズヴィル都賀山
議題: ①2009年度活動・決算報告
②2010年度活動方針・予算(案)
③役員体制(案)

社会保障制度・税制に関する要求実現求め 民主党滋賀県連に要請行動を実施

連合滋賀・高退協は、1月14日(木)午後、社会保障制度及び税制に関する私たちの要求内容の実現を求めて、民主党滋賀県総支部連合会に対して要請行動を実施しました。

この日の要請は、日本高齢・退職者団体連合が昨年7月17日に高齢者が安心して暮らすことのできる社会を構築するため、当時の麻生内閣に対して①年金制度②医療制度③介護保険制度④税制⑤福祉一般を内容とする「社会保障制度及び税制に関する政府要求書」を提出しましたが、政権交代が実現したことを受け、鳩山新政権と民主党を中心とする与党にあらためて私たちの要求を十分に理解してもらうことが重要であるため、全国的取り組みとして実施したものです。

連合滋賀・高退協の吉川会長から民主党滋賀県連を代表して滋賀県連の政務調査会長である徳永久志参議院議員に要請書を手渡



し、対政府要求実現に向けた支援・協力を要請しました。これに対し徳永議員は「皆さんの思いと民主党の政策は基本的には変わらないものと思います。要請内容は党本部にしっかりと伝えます」と応えました。

連合滋賀・高退協としては、今後も引き続き連合滋賀や民主党との連携を強め、高齢者が安心して暮せる社会を構築する取り組みを進めていきます。

連合滋賀結成20周年記念レセプション開催される 運動の歴史に学び、新たな時代へのチャレンジ誓う

連合滋賀は結成20周年記念レセプションを1月8日(金)琵琶湖ホテルにおいて、滋賀県をはじめとする行政、経済団体、友誼団体、事業団体、川端達夫文部科学大臣をはじめ県内選出の国会議員や連合議員団など多くの来賓を招き、構成組織、地区連絡会、組合員あわせて260名の出席で盛大に開催しました。

レセプションは「おうみ少年少女合唱団」の美しい演奏によるオープニングで始まり、冒頭、主催者を代表して中村憲市連合滋賀会長が挨拶し、これまでの連合滋賀に対する各界各層の支援や協力、歴代役員をはじめ構成組織・組合員の奮闘への謝意とともに、「この20年の歴史を振り返りながら、更に前進を図ってまいりたい。新たな時代へチャレンジをしていきたいと思います」と連合滋賀の更なる組織と運動の強化



に向けた決意を述べました。その後多くの来賓を代表して、川端達夫文部科学大臣など8名からの祝辞の後、鏡開きを行い、本郷文男副会長の発声で乾杯。その後、連合滋賀20年を振り返るスライド上映、懇親・懇談を行い、最後に山崎正雄副会長の謝辞によりレセプションを終えました。

秋日和のもと、変化に富んだ楽しいハイキングの一日 自然とロマンの万葉和歌浦ハイキング

「万葉和歌浦ハイキング」に参加して

連合近畿ブロック高齢・退職者連絡会主催の2009年度ハイキングは、連合和歌山のご担当により2009年10月30日(金)、「万葉和歌浦ハイキング」として開催されました。近畿六府県より千名余が集まりましたが、連合滋賀36人の一員として参加しました。

当日は晴天に恵まれ秋麗の一日でした。連合滋賀の一行は午前7時半にJR彦根駅前、8時半にJR大津駅前を貸し切りバスで出発、一路和歌山へ…。11時に和歌浦の片男波公園野外ステージに参集、連合和歌山招聘による元気いっぱいの和太鼓の披露による歓迎を受けました。

この後、青空のもと公園で昼食をとり、一服後、一同ハイキングのメインコースをスタート。右手に和歌浦湾を眺めながら不老橋～観海閣～玉津島神社を経て歩くこと40分。目的地の紀州東照宮に着きました。途中スポットごとに連合和歌山の方々のご案内を頂きました。東照宮へは大した疲れもなしに着きましたが、本殿への125段の石段の辛かったこと。最後のコースの天満



宮への段差のある50段の石段も結構きつかったようです。

東照宮、天満宮からはそれぞれ秋の陽が煌めいていました。山部赤人の万葉歌「若の浦に潮満ち来れば瀉をなみ葦辺を指して鶴鳴き渡る」を思い出しました。秋日和のもと、変化に富んだ楽しいハイキングの一日でした。

「秋澄みし御社(みやしろ)めぐる雲もなし」(東照宮・天満宮にて)

新日電乙酉会 (A・N記)